

もとみや
本宮市 (福島県)

へそのまち「もとみや」

「笑顔」あふれる「人」と「地域」が輝くまちを目指して



令和3年12月に完成した本宮駅東西自由通路と駅舎

東日本大震災から10年

あの日・いま・みらい

東日本大震災から10年が過ぎました。甚大な被害を乗り越え、人々は歩み続けています。復興から創生へと向かう、被災地の今をお伝えします。



本宮市長
たかまつぎぎょう
高松義行

あの日、平成23年3月11日の東日本大震災では、本宮市も住宅や公共施設、道路などに大きな被害を受けました。また、この10年の間に、令和元年東日本台風など度重なる自然災害で大きな被害を受けましたが、その都度、市民の皆さまをはじめ多くの方々のご協力により復旧・復興が進み、確実に元気を取り戻してきております。昨年は、平成30年から工事を進めてきた念願の本宮駅東西自由通路（東西アクセスロード）と駅舎が完成いたしました。

今、本市は2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指す「本宮市2050ゼロカーボンシティ」宣言の下、東日本台風災害による大きな被災を経験した自治体として、地球温暖化対策と脱炭素社会の実現に向け取り組みを進めております。

コロナ禍ではありますが、未来が笑顔あふれる明るいものとなるよう、市民の皆さまと共に歩んでまいります。

本コーナーは今月号をもって終了します